

平成 24 年 8 月 30 日

2012 年パリ大会 AORC 会議(アジアオセアニア地域会議)

1. AORC 理事会 出席報告

日 時：2012 年 8 月 29 日 14：00～16：30

場 所：パリ国際会議場内 232M 会議室

出席者, 出席 NC：メリエ前事務総長, 日本(横山副委員長, 服部幹事), 中国(3),
韓国(1), インドネシア(2), マレーシア(2), タイ(5),
オーストラリア(2), ニュージーランド(1)

議 事：

① 出席者自己紹介

② 前回議事録(2012 年 Sunway Resort, Malaysia)の確認

③ 次回 AORC TM について

- ❖ 次回 TM に展示会を併設する。
- ❖ 会期は 2013 年 9 月 3～6 日, 中国, 深セン。参加者数目標 200～300 名。
- ❖ 日本からも展示出展を要求される可能性が高い
- ❖ 論文数を確保するため, 早期の関連 SC 決定を横山副委員長から要請した。

④ 各国活動の紹介(2010～2012)

- ❖ 各国より, 概略, 以下のような内容が報告された。

国	概要
マレーシア	<ul style="list-style-type: none">❖ 2012 年 5 月に AM, TM 実施し, 100 名が参加。❖ 2013 年に EMF フォーラム開催予定。
日本	<ul style="list-style-type: none">❖ 総会資料(JNC 活動概要) 英文版に沿って報告。❖ SC A3 委員長に伊藤氏が就任したことや A2, D1 京都会議を報告。
中国	<ul style="list-style-type: none">❖ A1 会議, コロキウム等の活発な活動を紹介。❖ AORC パネルを今後推進していく旨も紹介。
タイ	<ul style="list-style-type: none">❖ 2011 年の AORC タイ会議の紹介。Electra への記事も。❖ 上記会議で論文 13 件を e-cigre に掲載したことを紹介。
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none">❖ 2012 年活動はパリ大会対応に専念。❖ 2013 年には B4, D3 会議実施予定。
韓国	<ul style="list-style-type: none">❖ 2011 年の本部理事会実施。
インドネシア	<ul style="list-style-type: none">❖ 2011 年に B3 会議開催。
ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none">❖ ANC から独立し, 会員が 166 名に到達したことを紹介。❖ Auckland Univ と連携して NGN(Next Generation Network)開始。

⑤ AORC Panel 活動報告

- ❖ Panel B2 活動開始。第一回マレーシア会議について報告。メンバーとエキスパートを合計し、各国3名ずつの割り当てとなっており、各国からバランスよくメンバーが集まっているとの紹介。B5, C6 は今後、活動開始予定。

⑥ AORC タスクフォース報告

- ❖ NC がない国をオブザーバとして参加できるようにするために AORC Constitution の修正案を作成したことを紹介。
- ❖ 今後、他の Region との連携を進めることを確認。
- ❖ AORC メーリングリスト作成のため、(できれば写真付きの)各国のメーリングリストを提出するよう依頼した。

⑦ AORC Constitution 修正案に関する審議

- ❖ タスクフォース案に対し、今回の AM で修正を加え、最終案を作成した。今後、メールにて確認の後、改正の手続きをとる。

⑧ 次期議長選挙

- ❖ 次期議長についてはマレーシアがタイを推薦。満場一致で次期議長国となることに決定した。

⑨ その他：

- ❖ AORC で会計組織を持つか、議長国が会計の責任を持つべきとの意見が出たが、基本的に費用は各 NC か、個人もしくは所属会社が持つべきとのことで各国の見解一致。
- ❖ AORC パネルにて構成する永久的な組織としての TC を作るとの提案があったが、すべてボランティアベースとなって担当者の負担が増えるため、今回の AM では結論をださず、継続審議とすることにした。